

いばらき
魅力人びと
ファイル



ライバルですか？
自分の相撲を取るだけです。

同級生は高校生。角界も注目する若き関取の躍進

あの貴花田（現貴乃花親方）に次ぐ史上二番目の若さで関取の座をつかみ、新十両で臨んだ五月場所では九勝六敗、そして七月場所では八勝七敗と連続の勝ち越し、おめでとうございます。

ありがとうございます。ですが、いろいろ反省するとござるまいっぱいありました。

それは、どういった点ですか？

FILE 002

萩原 寛

【力士】

はぎわら ゆたか

1986年7月3日生まれ 牛久市出身

中学2年までは龍ヶ崎市で過ごし、わんぱく相撲や野球などあらゆるスポーツで活躍した。その恵まれた体格と素質を鳴戸親方（元横綱・隆の里）に認められ、平成14年角界入り。今年の1月場所では7戦全勝で幕下初優勝、そして5月には、初土俵から丸2年、貴花田に次ぐ史上2番目の若さ（17歳9ヶ月）で十両昇進を果たした。横綱・朝青龍（モンゴル）をはじめ、ライバルと称される琴欧州（ブルガリア）など外国人力士全盛の流れや、相撲人気そのものの低下が取りざたされる中、日本人力士期待の星として角界全体から注目をされている。

今場所は、他の力士も私のことをかなり研究してきたと思います。私も負けずに研究はしましたが、老練な力士もたくさんいて、そう簡単に大勝ちはできないなと感じました。今後は、「一度負けた力士には二度と負けない」という宿題を自分に課しながら稽古に励みたいと思います。

親方は何と書いてますか？

今回（七月場所）の敗戦はそれほど気にしなくてもいいと言われました。稽古を積み重ねていけばいずれクリアできる問題だということでした。





練習熱心な萩原関。ひたむきに稽古に打ち込む姿が印象的だ



体が資本の世界。鳥肉が好みという萩原関

そうですね。若い萩原関ですから、これからどんどん力を付けるでしょうし、外国人力士の活躍が目立つ角界にあつては、期待の日本人力士としてますます注目されますね。

そういうことは、あまり気になりません。一生懸命やるだけです。



化粧まわしには、地元の自然・牛久沼と筑波山、そして、寅年生まれの萩原関にちなんだトラが大きく描かれている

力士になるつもりだったのはいつの頃だったのですか？
うーん、どうでしょう。たぶん小学生の頃だと思っています。親父が好きだったので、当時横綱の貴乃花とか、テレビもよく見てました。

スカウトではなく、自ら門をたたかれたそうですが、鳴戸部屋を選んだ理由は何ですか？
角界でも稽古量が多いと聞いていたし、強くなるためにはやっぱり稽古だと思ひまして。

親元を離れ、入門してから二年間の下積み生活の中でつらかったことは何ですか？
特に無いですね。ホームシックにもなりませんでした。

将来の横綱へ、高まる地の期待

さて、萩原さんと同様、若手の注目株として話題に上がる琴欧州関や豊ノ島関とのライバル関係についてはどうですか？

自分ではライバルとか、そこまで意識してないですけどね。来る相手、来る相手に向かっていって、そのために一日一日を一生懸命やっていくだけ、稽古がすべてだと思っています。

地元では後援会も発足し、牛久市だけでなく、茨城県全体で萩原さんを応援しようという盛り上がりがありますが？



鳴戸部屋の看板前にて。風格さえ感じさせる立派な体格に期待も膨らむ

大変光栄ですね。一生懸命やるので、応援よろしくお願いします。

今後も良い成績を収め、将来の相撲界を背負って立つ横綱を目指し、頑張っていたきたいと思います。

いやあ、自分はまだまだですよ。

Information

7月25日、萩原関の後援会が設立されました。入会の申し込みなど、お問い合わせは下記まで

萩原関郷土後援会

[事務局] 牛久市市民活動課内

☎ 029(873)2111 内線1633